

玄海だより

玄海原子力発電所
Vol.253
2026年9月



ゆうすげ(鎮西町)

私がゆうすげの花に出合う事ができたのは、玄海原子力発電所の元所長である樋口勝彦さんに出会い、耕作放棄地を耕し、ゆうすげの花の植栽を始めたことです。ゆうすげの花が咲いているのは、串崎から原子力発電所が目と鼻の先に見えるところにあります。出て行く船の無事を祈っているかのように、岩のすきまにも咲いています。少し風が吹くと、手を振っているかのようにも見えます。

耕作放棄地を開拓して、ゆうすげの花を植えております。今では約25万本にも増えています。

第1回のゆうすげ祭りは、平成18年に串浦漁協の荷捌き所で行いました。第2回からは、現在の串崎で行いました。今年で14回目になったゆうすげ祭りは、参加人数も200名を越していました。

3時間程の中で、フラダンス、踊り、カラオケなどを披露して、楽しいひとときを過ごしていただきました。

ゆうすげ祭りには、唐津市全域から、農業団体役員および関係者、婦人団体、国会議員、県知事、県議会議員、市長、市議会議員、市役所職員など、多数のご理解と参加を得て迎えることができます。

参加者の中には、地元の婦人会が作る手料理を楽しみに来てくださる方々も増えてきました。

ゆうすげの花をきれいに咲かせるために、九電の皆さまを始め、多くの方々のご協力があればこそと、常にも感謝の気持ちでいっぱいです。

このたびは、一般社団法人「日本善行会」より表彰もいただきました。偏に皆さまのおかげでございます。

レモンイエローに咲くゆうすげの花は、風に吹かれると、まるでダンスを披露しているようにも見えます。

六月半ば頃から七月中頃までの午後3時頃から咲き始めます。串崎には、ほかに桜の花、ブーゲンビリア、あじさい、つじ、やぶつばきと、色々な花も咲きます。

見にくられる方も年々増えております。

皆さまも、どうぞ一度、足をお運び下さい。

串崎と ゆうすげ祭り

ゆうすげの会 会長
古館 初美



九州電力グループ
ずっと先まで、明るくしたい。

九州電力からのお知らせ

【お知らせ】玄海原子力発電所における非常用サイレンの吹鳴について

佐賀県原子力防災訓練における玄海原子力発電所の訓練において、原子力災害の発生を発電所構内の作業者に知らせる非常用サイレンの吹鳴を予定しています。

サイレンの音が発電所敷地外まで聞こえる可能性があります。が、発電所の異常によるものではありませんので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

日 時 2026年10月3日(土) 1回目:8時20分頃
2回目:8時50分頃

玄海町園児によるタマネギの収穫体験を行いました。

2026年5月11日及び19日、玄海町次世代エネルギーパークあすびあ内のふれあい農園で、玄海町のふたば園とあおば園の園児によるタマネギの収穫体験を開催しました。

園児たちは、小さな体に力を込めてタマネギを引き抜くと大歓声を上げ、先生たちに嬉しそうに見せていました。



ふたば園の園児たち



あおば園の園児たち

玄海エネルギーパーク

秋のスペシャルイベント

参加無料

キッチンカーもくるよ!(有料)

10/17土・18日 9:00~16:00

17(土)

18(日)

ビンゴゲーム

クイズラリー

緑日

ワークショップベアアート

場所: エントランスホール 各回先着300名さま

場所: エネルギーパーク館内 館内のクイズに挑戦!

場所: エネルギーパーク館内 館内のクイズに挑戦!

場所: エネルギーパーク館内 館内のクイズに挑戦!

時間: ①11:00~ ②15:00~ (カード配布 各回60分前~)

時間: 15:00~ (カード配布 12:30~)

時間: 15:00~ (カード配布 12:30~)

時間: 15:00~ (カード配布 12:30~)

※参加賞はなくなり次第終了です。

※参加賞の交換は16:30まで

※参加賞の交換は16:30まで

※参加賞の交換は16:30まで

詳しくは玄海エネルギーパーク公式サイトへ

QRコード

原子力災害時の避難や屋内退避の考え方をお知らせします

当社の原子力発電所では安全確保に万全を期していますが、万一原子力災害が発生した場合、発電所の状況や放射性物質の放出状況に基づき、国・自治体から住民の皆さまへ、避難や屋内退避などが指示されます。詳細は、お住まいの自治体のHPなどをご確認ください。

原子力発電所の状況	警戒事態	原災法10条事象 施設敷地緊急事態	原災法15条事象 全面緊急事態	全面緊急事態 (放射性物質の放出後)
原子力発電所の状況	発電所の安全レベルが低下するような状態	放射性物質が発電所外へ放出される可能性が生じた状態	放射性物質が発電所外へ放出される可能性が非常に高まるような状態	放射性物質が発電所外へ放出され、立入制限が必要なエリアが特定される状態
PAZ(~5km)にお住まいで避難に時間のかかる方など	避難・屋内退避の準備	避難・屋内退避	屋内退避の指示が出た場合には、自宅などの家屋内に入り、ドアや窓を閉めることが基本です。屋内に退避すれば、建物を持つ気密性や遮へい効果により、被ばくする量を少なくすることができます。	避難・屋内退避
PAZ(~5km)にお住まいの方	避難準備	避難準備	避難準備	避難準備
UPZ(~30km)にお住まいの方	屋内退避準備	屋内退避準備	屋内退避準備	屋内退避準備

九州電力

玄海だより Vol.253 令和8年9月発行
九州電力(株) 玄海原子力発電所 TEL0955-52-6821 発行人: 森崎 徹 印刷: ダイヤモンド秀巧社印刷株式会社

歴史を秘め、本土との交流も生む

馬渡島の「ゲンコウ」

鎮西町の沖に浮かぶ馬渡島。かつて弾圧を逃れたキリシタンが移り住み、唐津藩の軍馬放牧場にもなったこの島で自生した柑橘のゲンコウ。その風味とうまみを生かした特産品も次々に生まれています。



(右) 島の特産品「げんこうぼん酢」と「げんこうクラフトビール」。
(左上) お話を伺った富田農園の富田秀俊さん。(左下) 9月頃発売予定の新商品「ゲンコウ」。

江戸時代にそのルーツか?!
漁師たちにも愛された酸味とうまみ

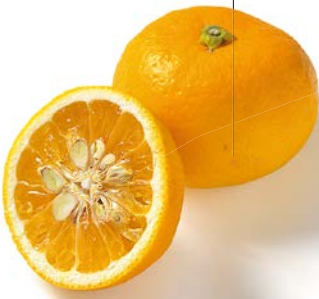
名護屋港から定期船で沖へ出ると、馬渡島の姿がぐんぐん近づいてきます。およそ20分で到着。海からせりあがるように山が迫るこの島は、県内で最も大きな離島（面積4・24㎢）です。

港周辺に軒を寄せて民家が連なりますが、この辺りはおもともと仏教信仰の家々。その背後の内奥部に住んできたのが、かつて島に渡ったキリシタンの末裔でした。今も島内のカトリック馬渡島教会で、静かに信仰を守り続けています。

実は今回の幻の柑橘「ゲンコウ」も、一説には江戸時代にこの島に渡ってきたキリシタンたちが持参して植えたともいわれています。

酸味の中にほのかなうまみを含み、成熟とともに甘さも増すその果汁。島の漁師たちも、獲った魚の刺身ににかけて舌鼓を打つなど、島内ではおなじみの味でしたが、自生ばかりで栽培には至らなかったようです。

馬渡島の島興しの象徴となっている幻の柑橘「ゲンコウ」。



主役の食材をぐっと引き立たせ
プロもうならせるその味わい

島外ではほとんど知られていなかったこのゲンコウに、20年ほど前着目したのが、唐津市浜玉町で果樹栽培を営む富田農園の富田秀俊さん。枝を持ち帰って農園に挿し木し、次第に本数も増えていきます。少しずつ販売したところ、プロの料理人もその風味に折り紙をつけました。京都の名割烹の主人も「この果物を絶対に絶やさんように」と太鼓判を押したほど。

唐津市内で懷石料理店「ひら田」を営む平田智隼さんもその一人で、店で使うポン酢醬油にはこのゲンコウ果汁が欠かせないと言います。

「柚子やレモンは香りが個性的ですが、ゲンコウは香りは控えめながら、酸味がまろやかで食材の味をぐっと引き立たせます。風味も品がありますね」

秋ぐらいまでは酸味が強く、果実は緑色、12月に入ると次第に糖を欲しがり、色が黄色へと変わっていきます。2月になる頃には糖度が12度に達し、酸味と甘みのバランスが取れた、まろやかな味わいになります。そのまま炭酸で割ったりしても格別です。

ゲンコウを使った新製品も続々
新たな島の特産品として羽ばたく

5年前、唐津西高校の生徒たちがゲンコウのことを知り、浜玉町の富田さんと相談して「ゲンコウのふるさと馬渡島で、栽培を広めたい」と、20本ほど木を持ち込み、島の一面に植樹しました。富田さんにとっては「島への恩返し」の気持ちもあったでしょう。そのうち18本がしっかりと根付き、今年もたくさんの実をつけています。

そんなゲンコウをもっと島興しの象徴にしたいと意気込むのが、島内で民宿を営む横山吉和さんです。横山さんも富田さんたちと共に植樹を行い、その後の成育管理にも尽力して、果汁を使った「げんこうぼん酢」や「げんこうクラフトビール」を開発しました。民宿でも販売するほか、本土の名護屋港近くにも直販ショップを設けて「馬渡島のPRに」と販路を広げています。

9月頃には新商品の「ゲンコウ」もお目見えする予定です。ドライフルーツにしてホワイトチョコをかけた、オシャレな大人の味になりました。



植樹する唐津西高校の生徒たち。

もっと知りたい、 唐津焼

唐津焼はいつから
伝わってきたか

全国には焼き物の産地が数多くありますが、ここ唐津で生まれた「唐津焼」は食器としてはもちろん、茶の湯で重要な茶碗や茶入、水指など茶陶としても国内で指折りの評価を得ています。

今回から始まる新連載は、地元唐津が世界に誇る工芸品「唐津焼」をテーマにお届けします。まずは唐津焼の歴史から始めましょう。

ちょうど今、NHK大河ドラマで、豊臣秀長を主人公に、兄・秀吉との絆を描く『豊臣兄弟！』が放送されています。秀吉が行った文禄・慶長の役以前にここ東松浦半島一帯を治めていたのは、上松浦党に属する領主で、上松浦党の盟主が波多氏です。

中世の唐津の遺跡からは、中国や朝鮮半島の陶磁器が出土しています。そもそも「唐津」というのは唐（中国）だけでなく広く外国を指す」との交易を行う港」という意味であり、水軍を有して朝鮮との交易を行っていた上松浦党がこれらの陶磁器をもたらしたと考えられます。



飯洞竈下窯跡
(唐津市北波多)



『肥前国産物図考』『焼物大概』部分(第7帖)
所蔵:佐賀県立博物館

波多氏は秀吉について上洛した際、千利休から茶の湯を習い、数々の道具を贈られています。当時、茶の湯を主導していた千利休は、朝鮮の井戸茶碗を高く評価していました。たから、波多氏が「国内でもこれを製作してはどうか」と思い付いた可能性もあります。

こうした背景もあって、文禄・慶長の役に参戦した諸国大名たちも競って陶工を連れ帰りました。彼らが持ち込んだ技法こそ、それまでの日本の陶芸を大きく発展させた「登り窯」や「蹴ろくろ」という重要な技術でした。そのころの日本ではまだ単独窯（焼成の部屋が一つ）しかなかったため、何部屋もある登り窯によって一度に数多くの焼成が可能になったのです。

波多氏は秀吉について上洛した際、千利休から茶の湯を習い、数々の道具を贈られています。当時、茶の湯を主導していた千利休は、朝鮮の井戸茶碗を高く評価していました。たから、波多氏が「国内でもこれを製作してはどうか」と思い付いた可能性もあります。

プロの味を
我が家に



磯の香あふれるサザエめし

材料 (4人分)

米3合
サザエ5個
水3合目盛り分
塩少々

[A]

酒100cc
みりん15cc
砂糖15g
濃口醬油30g
市販の顆粒だし5g

作り方

- サザエは水でしっかり洗う。
*殻に汚れが付着しているため。
- 鍋に水と塩を入れてサザエを茹でる。
*水の量の5%程度の塩。
- 沸騰してから5分間茹でて、火を止めて5分間そのままにしておく。
*サザエの茹でだし汁は冷ましておく。
- サザエを鍋から出して身を取り出す。
- 肝を取り除き、口の硬い部分もそぎ落として、4〜5個に切る。
- 米を研いで3合分のだし汁を加減し、[A]の調味料とサザエを入れて炊き上げる。好みでにんじんや油揚げの細切りを加えてもよい。
*通常より水の量は多めで炊く。

「自分は本土（唐房）の生まれで、縁あってこの島に來たので、島の人たちが気付かない魅力に感動することばかり。魚も貝も味が濃い。家庭でもぜひ味わってください」

●カフェ&民宿まだらや

唐津市鎮西町馬渡島1411-4
TEL 090-5932-11510

